

亀山市新水道ビジョンに関する実績等報告書(令和元年度)

(上下水道部 上水道課)

■計画の基本情報

計画期間	H 30 ～ R 9 年度
位置付け	本ビジョンは、平成25年3月に公表された厚生労働省「新水道ビジョン」を勘案し、第2次亀山市総合計画との整合を図りつつ、平成23年3月に策定した「亀山市水道ビジョン」に代わるものとして、亀山市水道事業の施策をまとめ、今後10年間の方向性を示す計画として、平成30年3月に策定したものである。
目的・概要	現状と将来の見通しを「安全」「強靱」「持続」の観点から分析・評価し、亀山市水道事業が抱える諸課題の解消と、人口減少問題や大規模地震対策など今後の事業を取り巻く環境の変化に的確に対応しながら、健全な事業運営を持続し、安全でおいしい水を安定供給するための施策をまとめたものである。
計画の骨格	<p>(基本理念) 次世代への使命 安全でおいしい水の安定供給</p> <p>(目標・重点施策)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 安全な水道 すべての市民が、いつでもどこでも安全でおいしい水が飲める水道 (1) 水質管理体制の強化 <ol style="list-style-type: none"> ① 持続的な安全性の強化 ② 水質監視体制の強化 (2) 安全で快適な配水システムの構築 <ol style="list-style-type: none"> ① 水道施設の集中監視 ② 快適な給水サービスの提供 (3) 環境への貢献 <ol style="list-style-type: none"> ① 地球温暖化防止への貢献 ② 環境教育の推進 2. 強靱な水道 自然災害による被災を最小限にとどめ、被災した場合であっても、迅速に復旧できるしなやかな水道 (1) 地震対策の実施 <ol style="list-style-type: none"> ① 計画的な耐震化の実施 ② 災害時における飲用水等の確保 (2) 風水害対策の実施 <ol style="list-style-type: none"> ① 風水害発生時の浸水対策 (3) 危機管理体制の強化 <ol style="list-style-type: none"> ① 応急給水体制の強化 ② 応急復旧体制の強化 3. 持続可能な水道 健全かつ安定的な事業運営が可能な水道 (1) 老朽施設等の計画的更新 <ol style="list-style-type: none"> ① 施設等の計画的な更新 ② 施設等台帳の継続的な整備 (2) 水道サービスの充実 <ol style="list-style-type: none"> ① 水道利用者への情報サービスの向上 ② 水道利用者への対応の迅速化 (3) 健全経営の強化 <ol style="list-style-type: none"> ① 有収率の向上 ② 適切な財源確保 ③ 事業経営の効率化 <p>(事業計画)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 水道整備年次計画 2. 財政計画

■ 成果指標

成果指標名		単位	現状値	実績値 (R1)	目標値
1	(別紙のとおり)				
2					
3					
4					
5					

■ 計画の実績等

取組実績	<p>①水道法第20条第1項に基づき水質検査計画を定め、水質検査を実施した。</p> <p>②水量・水圧の適正化を図るため、新たな川崎加圧ポンプ施設の建設工事を実施し、省電力型ポンプ設備の導入を行った。</p> <p>③震災対策のため、太岡寺配水池に応急給水施設を設置した。</p> <p>④老朽施設等の計画的な更新として、加圧ポンプ及び圧力タンク取替工事等を実施した。また、老朽化による配水管改良工事及び水源から配水池を經由し地区の主要部までの経路である基幹管路の耐震化整備を実施した。</p> <p>⑤経営基盤強化と財源確保のため、クレジット収納等の普及に努めた。</p>
成果	<p>①給水栓における水質が、省令に定められた基準に適合することを確認した。</p> <p>②新たな川崎加圧ポンプ施設の運用開始により、加圧区域の末端で平均水圧が0.322MPaまで上昇し、水圧低下の解消が図れた。</p> <p>③応急給水施設の設置により応急給水体制の構築が進んだ。</p> <p>④加圧ポンプと圧力タンクの取替により、施設の安定稼働を維持した。また、管路の改良工事等により、漏水箇所の改善と基幹管路の耐震化が図れたが、有収率については、前年度を下回った。</p> <p>⑤水道料金改定により、経常収支比率が向上した。また、クレジット収納の収納件数は増加しており、使用者の利便性の向上と財源確保が図れた。</p>
総合計画 推進への 寄与度	<p>前期基本計画第2次実施計画の主要事業(水道生活基盤整備事業、水道施設耐震化整備事業)として加圧ポンプ施設整備と基幹管路の耐震化整備を実施し、施策の大綱1. 快適さを支える生活基盤の向上 基本施策(3)上下水道の充実 方向性①安全でおいしい水の安定供給 の推進に寄与した。</p> <p>また、水道料金の見直し等により、方向性③上下水道事業の健全経営 の推進と、成果指標の経常収支比率の向上に寄与した。</p>

反省点・課題	<p>当初は予定していなかった三重県関係の追加工事により、水道整備年次計画の工程を調整する必要がある。</p>
--------	---

今後の方向性	<p>施策の計画的な推進を図るため、おおむね3年ごとの進捗状況評価と点検により、財政計画と水道整備年次計画の妥当性を検証し、計画期間内に生じた新たな課題に、柔軟に対応していくこととする。</p>
--------	---

別紙(関連資料)

■成果指標一覧表

成果指標名		単位	現状値	実績値 (R1)	目標値
1	加圧ポンプの整備施設数	施設	—	2	3
2	設備更新時の省エネルギー機器の導入施設数	施設	—	2	3
3	基幹管路の耐震化率	%	20.3	20.8	38.0
4	主要配水池への緊急遮断弁の設置施設数	施設	5	7	9
5	有収率(北中勢水道を除く)	%	90.0	88.8	93.9
6	経常収支比率	%	110.1	122.92	111.3